

# 地震から身を守るために

## 地震が起きたらどうするか

グラツときたら

### 地震発生

#### 命を守る

- 落ち着いて、自分の身を守る
- すばやく火の始末
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する



揺れがおさまったら

#### 家族を守る

- 家族の安全を確認
- 火元を確認・初期消火
- 靴をはく
- 必需品を手元に用意する
- 余震に注意



津波、山・がけ崩れの危険が予想される地域は、とにかく！  
すぐ避難！

1～3分

5～10分

#### 地域を守る

- 隣近所の安全を確認
- ラジオなどで情報を確認
- 電話はなるべく使わない
- 電気のブレーカーを切る
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する



津波の場合、おさまるまで6～8時間かかるので津波警報が解除されるまで、家に戻らないこと！

10分～数時間～避難生活では

#### 助け合いの心で

- 協力して消火・救出活動
- 生活必需品は備蓄でまかなう
- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家には入らない
- 引き続き余震に注意
- 避難所では集団生活のルールを守る

## 震度と想定される被害 ～震度による人や建物、家具などへの影響～

震度 4



かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全をを図ろうとする。眠っている人のほとんどが目覚めます。

震度 6弱



立っていることが困難になる。耐震性の低い木造住宅は、瓦が落下したり傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度 5弱



多くの人が身の安全をを図ろうとする。一部の人は行動に支障を感じる。

震度 6強



立っていることができず、はわないと動くことができない。耐震性の低い木造住宅では倒壊するものが多い。

震度 5強



非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。耐震性の低い木造住宅では、壁や柱が破壊するものがある。

震度 7



揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。耐震性の高い木造住宅でも、傾いたり大きく破壊するものがある。